



Industry on Campus 型 リカレント教育エコシステム構想 ～REACH×バイオ DX×ビジネスデザイン～ —文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択—

大阪大学大学院工学研究科が提案する「Industry on Campus 型リカレント教育エコシステム構想」が、令和7年6月12日、文部科学省の補助金事業である令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択されました（補助対象期間は令和8年3月末日まで）。

本事業は、日本社会、地域社会の持続的発展に向けて、大学等が地域や産業界と連携・協働するとともに、経営者を含む人材ニーズを踏まえた教育プログラムを開発することで、産学官連携のリカレント教育プラットフォームや、産学連携協働体制の構築を推進し、産業界・個人・教育機関によるリカレント教育エコシステムを創出することを目的としております。

令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_00026.html

❖ Industry on Campus 型リカレント教育エコシステム構想

～REACH × バイオ DX × ビジネスデザイン～

大阪大学大学院工学研究科では企業の研究組織を協働研究所／共同研究講座（以下では、共研と呼称）として学内に誘致し、Industry on Campus と称する学内での産学共創活動を推進しており、共研等と連携し社会人対象のリカレント教育についても豊富な実績を有しています。

これらの実績を基に、工学研究科が強みとする Industry on Campus を柱とし、**共研との産学共創によるリカレント教育エコシステムを構築**し、特に、産業界からのリカレントニーズの高い分野として、創薬や再生医療・遺伝子治療、ヘルスケア、バイオ由来製品等に資するバイオDX分野と、事業のベースとなる思考力・企画力等に資するビジネスデザイン分野に関して教育プログラムを開発・実践します。

「大学」「共研」「企業」の 3 者がエコシステムを形成し、共研と企業間の強固な連携による社会人の大学派遣と、大学研究者と共研の連携による教育プログラムを開発・実践を推進してまいります。

つきましては、本プログラムの積極的なご取材をお願い致します。

※REACH とは

島津分析イノベーション協働研究所を中心とする産学共創と高度人材育成を目指す取組み。

（REcurrent & RE-skilling Academia and Industry Collaboration through Higher Education）

株式会社島津製作所が今後事業を伸ばしたい分野の卓越研究者の研究室の博士後期課程に、社内公募により選抜した社員を派遣し、共同研究として学位研究に取り組み、復社後、共同研究成果の社会実装に

リーダーとして取り組む。

また、派遣先である阪大の卓越研究室の博士前期課程修了の学生を採用後、社員として博士後期課程に派遣し共同研究を推進。

❖ プログラム概要

①目的

バイオ/ライフサイエンス/ビジネスデザイン分野を牽引する高度人材の育成

②対象者層

バイオ DX(機械学習、ビッグデータ解析、バイオインフォマティクス等)や、医薬・遺伝子治療薬、ライフサイエンス領域等に関係する企業の各部門担当者等

③育成する人物像

バイオテクノロジーとデータサイエンスを融合し、DX 導入による組織論や経営資源の最大化を視野にDX の方向性を企画する力を育成。

産学共創セミナーやライフサイエンスセミナー、ビジネスデザイン等の講義を通じて、企業の成長に直結する人材を育成。

❖ 事業協働機関

株式会社島津製作所、パーソルテンプスタッフ株式会社、パナソニックホールディングス株式会社

阪大工学研究科が強みとする Industry on Campus を柱とし、大学内に誘致された企業の研究所との産学共創によるリカレント教育エコシステムを構築！

令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業メニュー②「新時代の産学協働体制構築事業」」

機関名：大阪大学大学院工学研究科

(事業テーマ名：Industry on Campus型リカレント教育エコシステム構築 ～REACH×バイオDX×ビジネスデザイン～)

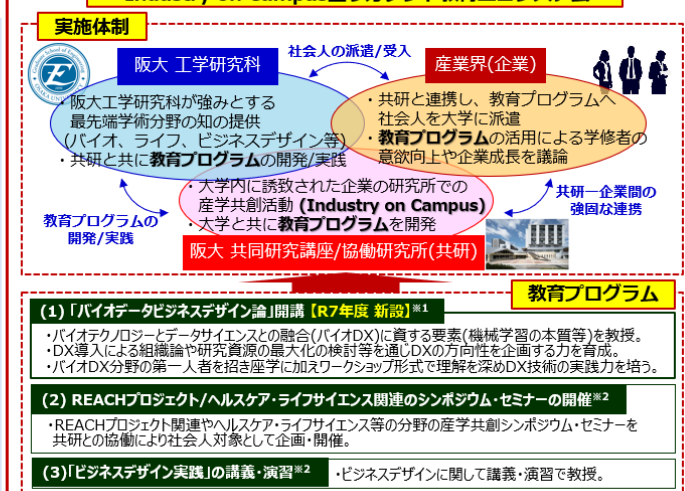
プログラムの目的・目標、内容

- ▶ 阪大 工学研究科が強みとする**Industry on Campus**を柱とし、大学内に誘致された企業の研究所(以下、**共研**と呼称)との産学共創による**リカレント教育エコシステム**を構築。
- ▶ 大学研究者と共研が連携し教育プログラムを開発・実践。共研と企業間の強固な連携の下、共研を含む産業界より社会人を派遣。
- ▶ 共研として島津分析イノベーション協働研究所の「**REACHプロジェクト**」を特色とし、産学共創と高度人材育成を同時に推進。
- ▶ 特に、大阪大学発の文理融合型の協働研究所であるパーソル高度バイオDX産業人材育成協働研究所と連携し、リカレントニーズの高いヘルスケア分野にて、創薬や再生医療・遺伝子治療、バイオ由来製品等に資する**バイオDX**と、事業のベースとなる思考力・企画力等の**ビジネスデザイン**に関する教育プログラムを**新たに開設**。
- ▶ 本プログラムによる学修者の意欲・スキル向上等を目標。アンケート等を通じて教育手法を改善し、3～5年後での自走化を目標。

実施体制

- ▶ 阪大 工学研究科：フューチャーイノベーションセンター、教育学務国際室、社会連携室、各専攻研究者
- ▶ 共研：大阪大学 協働研究所・共同研究講座
- ▶ 産業界：島津製作所、Panasonicなど関西を地盤とした企業

Industry on Campus型リカレント教育エコシステム



※1 新設科目、※2 既存の取組を企業のニーズ等を踏まえて改善

自走化に向けた工夫

- ▶ 教育プログラムの改善を進め、3～5年後に大阪大学科目等履修生高度プログラム(社会人向け)として整備。
- ▶ 島津分析イノベーション協働研究所のREACH (REcurrent & RE-skilling through Academia and Industry Collaboration for Higher Education) プロジェクトとの連携。社会人の博士学位の取得促進へ。

❖ 本件配信先 : 大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会